

## ハラスメント Q&A

※ パワー…、モラル…、セクシュアル…、など様々ありますが、いくつかの要素が重なり合うケースが多くみられます。

ハラスメントは、相手や周囲を不快にさせる言動を繰り返すことで人格を傷つけ、尊厳を否定する人権侵害です。悪意がなくても相手に深刻なダメージを与えることはあり、結果的に人間関係や環境を悪化させるならば、ハラスメントにあたります。

### Q1 パワー・ハラスメントとは？

組織内の力関係を背景に発生します。教会においては、上下関係は一般組織のように明確ではありませんが、信仰の先輩後輩といった無意識の力関係があります。教会の力関係は必ずしも一方向ではありませんから、指導的立場の牧師や役員がパワーを持つこともありますし、牧師を招聘した信徒がパワーを持つことも考えられます。

### Q2 モラル・ハラスメントとは？

身体的暴力を伴うことなく、相手の人格を否定するような態度や言動を継続的に行うこと。力関係や性差別といった背景に限定されることなく、さまざまな人間関係や環境において生じます。見下すような言動や皮肉、仲間外れなどもモラル・ハラスメントになります。誰もが加害者になり得ると自覚することが、防止に繋がります。

「ハラスメントのない教会に！」大切な1人を失わぬよう、共に祈りつつ歩みましょう。

### Q3 セクシュアル・ハラスメントとは？

相手の望まない性的な言葉やふるまいは、冗談やコミュニケーションのつもりでも、相手が不快と感じたならばハラスメントです。また、性差別的な意識に基づく言動、たとえば男性はこうあるべき、女性はこうあるべきといった固定観念に基づく役割の押しつけも指します。異性間でも同性間でも起こります。

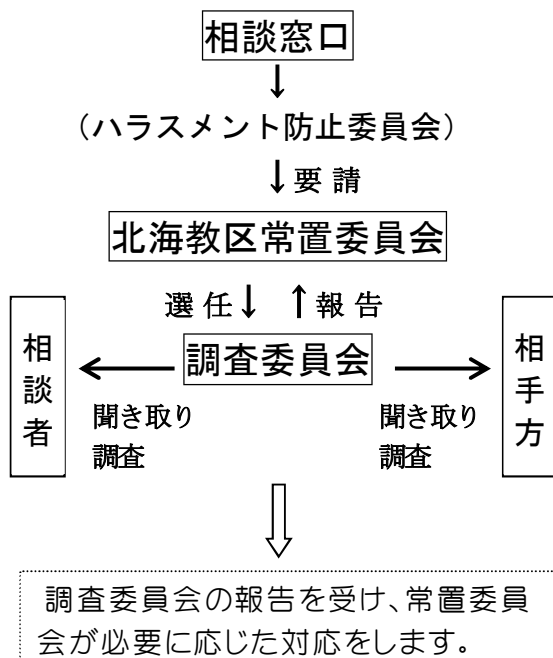
### Q4 教会でハラスメントが起こるのか？

教会も弱い人間の集まりですから、「ハラスメント」と無関係ではありません。相手の人格を重んじることなく、一方的にこうあるべきと「信仰的指導」等を行う場合には、たとえ善意からであっても、「ハラスメント」になる危険性があります。そして、教会の中に「ものがない空気」があると、ハラスメントの被害者は、一人で悩みを抱え込むことになります。ハラスメントを見過ごしていると、教会生活・信仰生活を、誰もが安心して送ることができなくなります。教会につながる皆がお互いに、一人が抱えている悩みや痛みを心に寄せ、語り合えるような関係を作ることがハラスメントのない教会を形作ります。自分の問題としてこの課題に向き合うことが大切です。

## 解決に向けた流れ

(相談者が具体的な対応を求めた場合のみ)

相談から解決まで、相談者の意思を尊重し、  
秘密厳守で対応します。



詳細は「ハラスメント防止と問題解決に関する  
ガイドライン」(第75回北海教区定期総会決議)  
に定められています。

## 被害を受けていると感じたら…

まず自分の身の安全を守ることを考え、信  
頼できる相談者を探しましょう。相談機関もさ  
まざまあります。

いつ、誰が、どこで、どのように、何をしたか、  
事実関係を記した記録、日記、メモ、また、相手  
の手紙やFAX、メールなどの証拠は有効です。

北海教区は電話相談窓口を設置しています。  
教会におけるハラスメントに悩む方、もしかした  
らハラスメントかも？と思われる方は、一人で  
抱え込まずに、まずはご相談ください。あなた  
の秘密は守ります。

教会におけるハラスメントに悩む人のために

## 北海教区ハラスメント電話相談

# 011-757-6282

毎月第3金曜日 午前11時～午後11時

※上記の日時以外はつながりません。

ハラスメントのない教会を目指して

## ハラスメントQ&A

喜ぶ人と共に喜び  
泣く人と共に泣きなさい。

(ローマ12:15)

日本キリスト教団北海教区

〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目